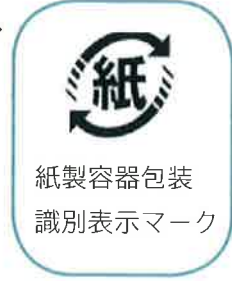


古紙類の 出し方について

最近、古紙類を中身が見えない状態で出される例が見受けられます。中身が見えない古紙類には、汚れた紙コップなどが混入している場合もありますので収集しません。

中身の見えない搬入物は、作業員の作業効率及び作業環境（安全性）に支障をきたしています。古紙類を出される際は、ひもで縛り、中身の見える状態を出してください。



紙製容器包装
識別表示マーク

この表示があっても、紙コップなど中に特殊加工がしてあるものや500ml未満の紙パックは可燃ごみとして出してください。



広告で包んで排出されたものは収集しません。

古紙類は ひもで縛り 中身の見える状態に



アルミ箔・耐水加工が
してあるものは
可燃ごみへ

可燃ごみの 出し方について

可燃ごみを排出される際に、可燃ごみの袋の口が開いていると、中身がこぼれたり、カラスがつつく原因となります。中ひも及び取っ手をしっかりと結び、中身がこぼれないようにして、出してください。

◆お詫びと訂正◆

各ご家庭へお配りした、ごみ分別収集のてびき「ごみの区分と出し方」の本文の内容に一部訂正箇所がありました。訂正してお詫びいたします。

●訂正箇所

5 ページ 古紙類 ③紙パック

【誤】500ml以下のものは可燃ごみとして出してください。

【正】500ml未満のものは可燃ごみとして出してください。